

46 地域の交流を通じて進めるまちづくり

【き】 町内会が中心になって発足

養田は430世帯ほどのまちです。平成10年、ハード、ソフト両面からまちの将来をみんなで決めて、みんなで実行しようと、町内会が中心になって立ち上げました。現在42名で活動しています。

【概】 地元、養田川の浄化を中心に取り組んでいます

トライやる・ウィークを通じ、子どもたちと、加古川の支流である養田川の生物調査を行いました。その結果、一見汚い川にも貴重な生物がたくさんいることが分かりました。



トライやる・ウィークの様子

その当時、川は改修工事中で、新河川はコンクリート三面張りにする予定で、既に側面の工事は完了していました。加古川市子ども議会などを通じ、子どもたちとともに、底面だけでも自然工法にしてくださいと市にお願いし、受け入れてもらいました。

トライやる・ウィークでの子どもたちの受け入れは、その後も毎年実施しています。他にも地域のお祭りや住民みんなの清掃活動「クリーン大作戦」を実施しています。また、他の地域とも協働しながら、炭を使った加古川流域の浄化活動にも取り組んでいます。平成17年1月30日には、加古川流域で先進的な活動に取り組む団体が集まり「まちづくりサミットin加古川」を開催しました。

【成】 世代間、地域間の交流が活発に

トライやる・ウィークをはじめ、さまざまな活動を通じて、子供たちからお年寄りまで、世代間の交流が進みました。また、トライやる・ウィークを通じて、地域の将来を担う子供たちが、地域の環境問題に関心を持つようになってくれたことも大きな成果です。

【夢】 加古川流域をすべて浄化したい

養田は加古川の下流にあたりますが、川をきれいにするためには、上流から下流まで、すべての流域で浄化活動に取り組まなければなりません。私たちが積極的に他の流域団体に働きかけることで、加古川129の支流すべてを浄化したいと考えています。

養田まちづくり委員会

代表者氏名:小田稔
活動地域:東播磨地域
事務所等:加古川市尾上町養田1-21
電話番号:0794-23-5825
FAX番号:0794-23-5825

ともに取り
組んだ団体等

ホテルの宿路の会(八千代町)

八千代町の団体で、子どもたちのホテル鑑賞会のため毎年訪問させていただいているほか、上流の環境についても学ばせてもらっています

加古川市北別府町内会

20年以上交流がある団体で、ともに川の水質浄化に取り組んでいます。

活用した支援

広域まちづくり助成(ひょうごまちづくりセンター)



「エコ炭銀行」で地域間交流

播磨町にある、巴製炭という会社がつくっていた「エコタン191」という炭焼き釜を使って、川の水質浄化に取り組み始めました。竹を使って炭をつくり、それを川に置いて水をきれいにするという取り組みです。他地域にも取り組んでもらうきっかけになればと、「リバークリーン・エコ炭銀行」を設立しました。竹を持ってきた人が、その竹からできた炭の1/3を持ってかえる、炭をつくる作業をした人が1/3、銀行が残りの1/3をもらうというしくみです。

エコ炭通帳もあり、普通の通帳と異なり、竹が伸びるように下から上へと記帳していくのが特徴です。

加古川流域の人・団体はもちろん、本当に多くの人たちから竹を持ってきていただいております。どうしても困るぐらいの量が集まっています。遠いところでは静岡県でも通帳を持っている方がいます。



トライやる・ウィークを活用し、担い手づくり

トライやる・ウィークでは、川の生物調査や八千代町でのホタル鑑賞会のほか、稲刈り、川の清掃、地域の老人たちとのゲートボール、知的障害者施設での共同作業など、地域の人たちとのふれあいを重視したプログラムを毎年実施しています。

トライやる・ウィークは元々、「学校だけでなく、地域も教育を担う」ということに大きな意義があったはずですが、ただどこかの職場で何日か働いて終わりというのでは、その目的を果たしたことになるのではないかと思います、このような取り組みをしています。

地域の将来を担うのは子どもたちです。子どもたちに地域のことを知ってもらい、好きになってもらうよう、トライやる・ウィークなどのしくみを活用することが大事なのではないでしょうか。



大盛況だった「まちづくりサミットin加古川」



みんなで地域の清掃活動を行う「クリーン大作戦」